

# 似島ホタルの里通信

vol.8



押し花：福永眞由美 さん

## も く じ

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 日本のホタル、世界のホタル、そしてニノシマボタル・・・  | 2 |
| 平成25年度ホタル観察会報告・・・            | 3 |
| 平成25年度ニノシマボタルを育てる里人の会活動報告・・・ | 4 |
| ニノシマボタルを育てる里人の会のあゆみ・・・       | 5 |
| 似島を知ろうコラム～似島の歴史・・・           | 6 |
| こぼれ話～菓子伝説スイーツ「似島パウムクーヘン」・・・  | 6 |
| ホタルかごのつくり方・・・                | 7 |
| ホタル観察会参加者の声・・・               | 8 |
| ニノシマボタルを育てる里人の会会員募集・・・       | 8 |

発行：平成26年3月28日

発行者：南区魅力発見委員会

（ニノシマボタルを育てる里人の会）

〒734-8522 広島市南区皆実町一丁目5番44号

南区役所市民部地域起し推進課

電話(082)250-8935 FAX(082)252-7179

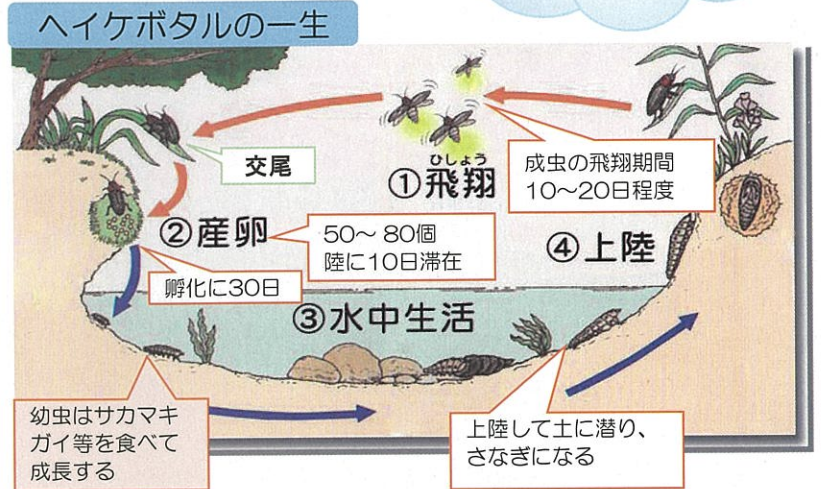
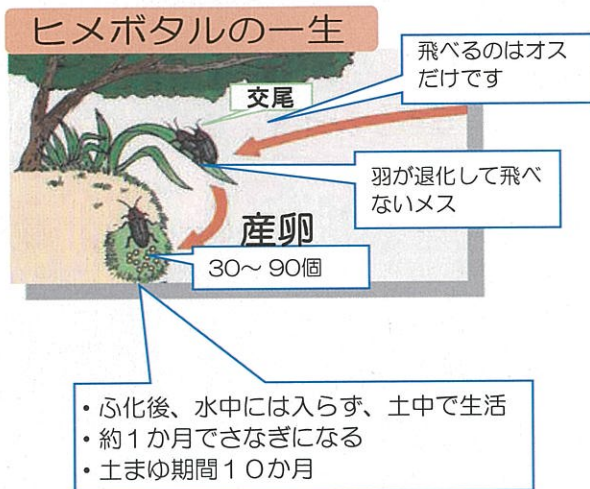
E-mail mi-chiiki@city.hiroshima.lg.jp



# 日本のホタル、世界のホタル、そしてニノシマボタル

- ホタルは、コウチュウ目(鞘翅目)・ホタル科 Lampyridae に分類される昆虫の総称です。  
主に熱帯から温帯の多雨地域で見られ、世界には2,000種が生息しているとか。
- 幼虫時代を水中ですごす「水生ホタル」と陸上の湿地ですごす「陸生ホタル」に分類されます。
- 日本でホタルといえば、「ゲンジボタル」と思われがちですが、実際には約40種がいると言われています。  
本土より南西諸島により多くの種類がいます。
- ホタルと言えば夏の風物詩ですが、朝鮮半島、中国、対馬に分布する「アキヤマボタル」は秋に成虫が発生します。西表島で発見された「イリオモテボタル」は真冬に発光します。
- 日本で代表的なホタルと言えば、  
「ヒメボタル」、「ヘイケボタル」、「ゲンジボタル」……下の図を見てね。  
「マドボタル」……名前の由来はオスの胸に窓のような2つに透明部があること。  
「オバボタル」など……昼行性でほとんど発光しない。

似島にはそのうちのヘイケボタルとヒメボタルがいます。(ニノシマヘイケボタル・ニノシマヒメボタル)



|        | 1月                | 2月 | 3月 | 4月 | 5月     | 6月       | 7月       | 8月         | 9月     | 10月 | 11月      | 12月 |
|--------|-------------------|----|----|----|--------|----------|----------|------------|--------|-----|----------|-----|
| ヒメボタル  | 土中生活期間（土まゆ）さなぎ・成虫 |    |    |    | 観賞期間   | 産卵<br>ふ化 | 幼虫       | 草むら・土中生活期間 |        |     |          |     |
|        |                   |    |    |    |        |          |          |            |        |     |          |     |
| ヘイケボタル | 水中生活期間            |    |    | 上陸 | さなぎ・成虫 | 観賞期間     | 産卵<br>ふ化 | 幼虫         | 水中生活期間 |     |          |     |
|        |                   |    |    |    |        |          |          |            |        |     | 田んぼの耕作期間 |     |

| 区分    | ヒメボタル                                                               | ヘイケボタル                                                                  | ゲンジボタル<br>(似島では生息が確認されていません)                                            |
|-------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 飛翔時間  | 22時から24時<br>(場所によっては20時頃)                                           | 日没から2時間程度<br>(場所によっては21時頃)                                              | 日没から2時間程度<br>(場所によっては21時頃)                                              |
| 点滅    | ・光の間隔は1秒に1.5回程度<br>・早く力強い点滅<br>・180回/分                              | ・光の間隔は1秒に1回程度<br>・弱々しい点滅120回/分<br>・光りは青みがある                             | ・光の間隔は2秒に1回程度<br>・ゆっくりで力強い<br>・70~80回/分                                 |
| 特徴    | 雄: 0.9cm<br>雌: 0.6cm<br>産卵数 30~90個<br>卵の直径: 約0.6mmの丸形<br>飛翔期間: 2~7日 | 雄: 0.8cm<br>雌: 1.0cm<br>産卵数: 50~80個<br>卵の直径: 約0.6mmの楕円形<br>飛翔期間: 10~14日 | 雄: 1.5cm<br>雌: 2.0cm<br>産卵数 500~800個<br>卵の直径: 約0.5mmの丸形<br>飛翔期間: 10~14日 |
| 代表的な餌 | カタツムリ、ミミズ、オカチョウジガイ                                                  | サカマキガイ、モノアラガイ                                                           | カワニナ                                                                    |



# 平成25年度ホタル観察会報告

似島には2種類のホタルが飛んでいます。

平成25年6月1日(土)・2日(日) (1泊2日) ヒメボタル 天候：☔/☁ 飛翔数：約10匹

## 第1日



9:20 広島港集合。さあ行くぞー！似島汽船フェリーに乗船。



10:50 ホタル池到着後、周辺の整備と昆虫観察。



13:30 ホタルかご作りにみんな夢中！



15:00 ティータイム。みんなで似島バウムクーヘン(P6に詳細)をいただきました。



19:00 新枝さんのホタルの勉強会(左)。石原さんの星空観察(右)。雨のため星空は見れませんでした。貴重な映像で宇宙旅行気分になりました。



21:00 ホタル池に観察に向かいました。雨のためほとんど飛んでいませんでした。

## 第2日



10:00 自然の家近くの海岸で海辺の生物観察。いろんな生きものに子どもたちは大喜び！



11:30 似島の有志のみなさんによるにのしまランチ(たこめし・メバルそうめん)は、最高の味でした。



13:30 反省会とアンケート記入。何を書いているのかな？

平成25年7月9日(火) (日帰り)

ヘイケボタル

天候：☁

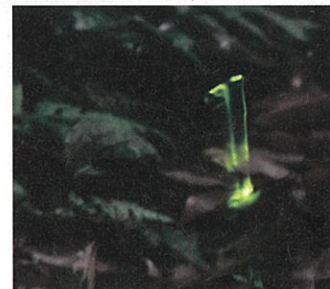
飛翔数：約100匹



夕暮れの海を見ながら、海岸線を歩いて、ホタル池に向かいます。ワクワク・・・



約100匹のヘイケボタルが舞うところを見ることができました。昨年より広い範囲で見れたのは、田んぼ復活大作戦の成果でしょうか？



貴重映像。カップルの2匹が同時に飛び立つところは、珍しいですよ。

## ホタル池年表

H13~15 地元似島から、ホタル保護の声が上がる。(2001~2003) 調査の結果、ヘイケボタルの生息が確認された。

H16(2004) ニノシマボタルを育てる里人の会の活動始動。竹藪の伐採など、ヘイケボタルの生息地の環境整備を始める。

H17(2005) 『ホタルの里』の看板や、観賞用のベンチを設置。「似島にホタルがいる」と、NHKなどのメディアに取り上げられる。この年、ホタルは 最大300匹飛び交った。

H18(2006) 一般の参加者を募り ホタル観賞会を実施。ホタルは120匹。

H19(2007) ホタルの飛翔数が減ってきた。ホタル池に雑草が根を張り、ホタル池の水が乾きがちになってきた。ホタルは50匹。

H20(2008) ホタル池の雑草の根を切るため、田起こしを実施した。ホタルはわずか20匹。

H21(2009) ホタル観察会の時、ホタル池の上には ホタルが飛んでいなかった。山中の竹藪にホタルが乱舞していた。その数、300匹。

H22(2010)

6月上旬のホタル観察会時、前年と同様、竹藪にのみホタルが飛翔。120匹。同じ時にホタル池の水中に幼虫がいるのを発見した。鑑定の結果、竹藪の成虫は「ヒメボタル」、幼虫は「ヘイケボタル」と判明。1か月遅れの7月上旬、ヘイケボタルの成虫がホタル池の上で飛翔。30匹。この年から、「蛸かご」用に、畑で麦を育て始めた。

H23(2011)

竹樋を設置し、山水が常時ホタル池に流れるようになった。ホタル池に初めて稲を植えた。ヒメボタル500匹、ヘイケボタル30匹。ホタルの里で穫れた麦わらで 蛸かごを作った。

H24(2012)

ホタル池に耕運機を入れ、本格的に田起こし、広い範囲に稲を植える。

H25(2013)

蛸かご用の麦が収穫間際に鳥害に遭い、全滅。ホタル池の全面に稲を植える。収穫された米(似島米)で収穫祭。約6キロの収穫。田の生き物も、タイコウチが見られるなど種類が増えてきた印象がある。



# 平成25年度 ニノシマボタル里人の会活動報告

## ホタル池周辺の環境整備の様子



4月 除草作業



6月 完全防備で...



9月 作業の合間の休憩中

## 田んぼ復活大作戦



4月 田おこし



5月 田植え



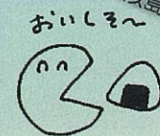
10月 稲刈り



10月 刈り取った稲は天日干しに (はせかた)



11月 収穫した似島米を新年会でいただきました。



10月 畑の野菜で収穫祭



いつかは竹で作りたい! スタードームの模型。



7月 麦ふみ(ホタル池横の畑)



## 6月 ホタル観察会



ホタルかごをつくらせ



おっ、罫子にホタルが!



# ニノシマボタルを育てる里人の会のあゆみ



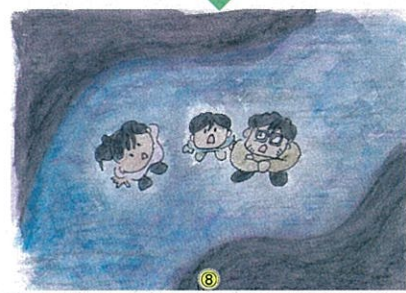
①瀬戸内海に浮かぶ似島は、宇品港から船で20分で行くことのできる南区の島です。この島に生息するホタルと、そのホタルを育てる里人の会のあゆみをご紹介します。



⑦力を合わせて環境整備を行った結果、ホタルがたくさん飛び交うようになりました。平成17年6月の観察会では、300匹ものホタルが見られました。ホタルはみごとに復活しました。めでたし、めでたし...と思っていました。



②平成13年のある日のこと。「似島のホタルの数が減っている...」という報が区役所に届きました。山の清流や水田に棲むイメージの強いホタルです。本当に島にホタルがいるのだろうか？みんな、最初は半信半疑でした。



⑧ところが、年ごとにホタルの数が減っていきました。平成21年の観察会の日には、とうとうホタル池の上に一匹のホタルも飛びませんでした。ホタルは絶滅してしまったのでしょうか？



③世界には約2000種類、日本には約40種類のホタルがいるそうですが、日本人にとってなじみ深いのは、ゲンジ・ヘイケ・ヒメボタルの3種類です。専門家に調査してもらったところ、



⑨ホタルがいらないか目を凝らしました。ふと山の中に目をやると、それはそれはたくさんのホタルが光を放っているではありませんか！ホッとすると同時に、ウチのホタルは山が好きなホタルなんだなあ...と不思議に思いました。



④わずかな山水が流れ込む、50年前まではお米を作っていた休耕田の湿地に、ヘイケボタルが細々と生息していることが分かりました。放置すれば湿地は山に戻ってしまいそうでした。



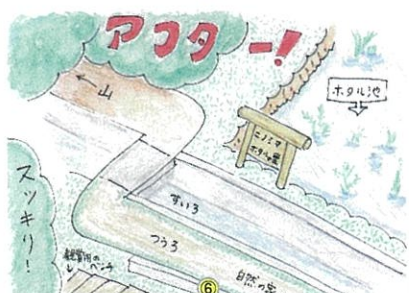
⑩平成22年の観察会の日のこと。山の中にたくさんのホタルが光っています。が、ふとのぞき込んだホタル池にも、光が見えました。淡い光を放つ幼虫です！昆虫館の先生に調べてもらったところ、山の中にいたのはヒメボタル、池の中のはヘイケボタルの幼虫だとわかりました。似島に2種類のホタルがいることが分かった瞬間です。



⑤そこで、南区役所区政振興課(当時)の呼びかけで有志を募り、ホタルの名前をニノシマボタルと定め、ニノシマボタルを育てる里人の会の活動が始まりました。平成16年のことでした。里人たちは手弁当で似島に集っては草を刈り竹を切り、



⑪それぞれにニノシマヘイケボタル・ニノシマヒメボタルと名前を付けました。また、本を読むうちに、特にヘイケボタルは日本の昔ながらの稲作のサイクルに合わせて生活を営んでいることが分かりました。そこで平成23年からは、ホタル池に稲を植えてみることにしました。少しずつヘイケボタルの数も増えてきているようです。



⑥ホタル池が姿を現しました。『ホタルをよその場所から持ち込まない。外に持ち出さない』が里人たちの合言葉。ホタル池の周りをホタルが暮らしやすい環境にして、ホタルが自分たちで増えていける手助けをします。



⑫今、ホタル池とその周りでは、ホタル以外の生き物たちもたくさん暮らしています。興味を持たれたあなた。一度、似島にホタルを見に来ませんか。そして、いっしょにホタルを育ててみませんか。



# 似島を知ろうコラム

写真・文責 宮崎 佳都夫

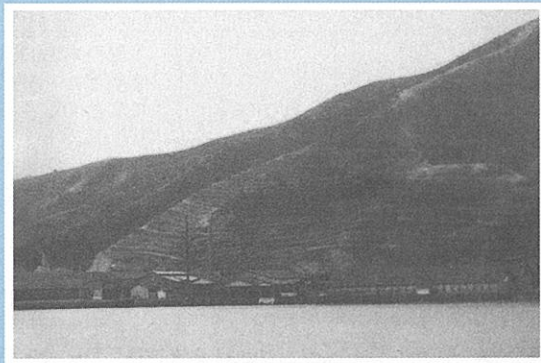
## 似島の歴史⑤ 臨時陸軍検疫所の建設と島民の生活

明治27年(1894)8月に始まった日清戦争は翌28年(1895)4月の講和(下関)条約により終結した。当時、戦闘地域となった朝鮮半島や台湾ではコレラなどの伝染病が蔓延しており、帰還部隊将兵の防疫対策が国家的大命題となった。このことは過去の本通信コラムで概要の一部を紹介したところであるが、今回は検疫所建設の経緯や当時の島の状況にも言及する。

大本営は明治28年2月初旬から留守第五師団経営部に命じて検疫所を建設する土地の選定作業に着手し、広島湾内の宇品近くの場所を探索した。その対象は似島のみならず、宇品島西南岸、ツク子ガ島(津久根島)、ナサビ島(奈沙美島)なども考慮されたが、地理的利便性や自然条件の調査により3月3日には似島を選定した。第五師団監督部は3月下旬には早速、現在似島学園がある東大谷地区の土地を似島住民から借入れる手続きに着手し、4月4日には土地の掘削や海面の埋立などによる土地の造成を開始した。この土木工事は数千人の土工を投入し、昼夜兼行で行われた。土地の造成と並行して広島市国泰寺村の小学校運動場を借上げて建築部材の切込みを行い、順次似島に送り各種建物を建築した。検疫所の建物は消毒施設、停留舎、避(伝染)病院、兵舎、火葬場、焼却場などで、広さは延約1万坪に近いものであった。

その後、陸軍(第五師団)は借り上げていた土地とその周辺の山林も併せて強制的に住民から買収して総坪数13町9反の広大な検疫所用地とした。

この当時の似島の状況をみると、戸数は百有余戸で、その大多数が島の西部の家下地区に居住し、住民の多くは海に漁をし、小松林の中に点在する田畑を耕す生活であった。検疫所を建設した東大谷地区(現似島学園の場所)にも田畑が有り、写真①では山麓に段々畑が確認できる。



写真①

東洋一と評された似島検疫所は明治28年6月1日に開庁し、困難な検疫業務(写真②)を行い、同年10月31日に閉庁(廃止)された。この間、似島で検疫を受けた将兵は13万4,600名で、コレラ患者が707名(死者313名)、擬似コレラが219名、痘瘡が8名(死者1名)、腸チフスが143名(死者24名)、赤痢が183名(死者44名)と記録され、これらの伝染病患者の総数は1,260名(死者382名)に上った。

この検疫所建設が、ある意味で似島住民に後世まで忍従と犠牲を強いる起点になったとも云える。

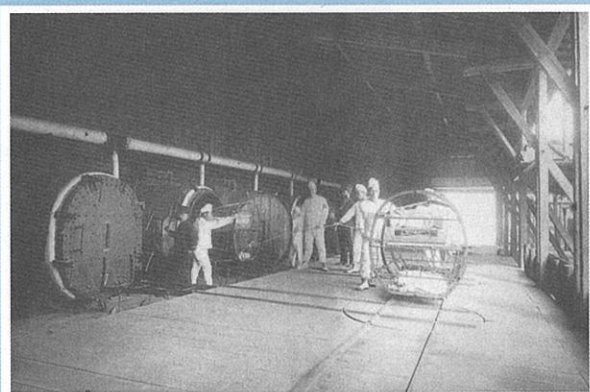
※写真のタイトル及び出典

①臨時陸軍検疫所北側 臨時陸軍検疫部報告摘要(宮崎所蔵)

②臨時陸軍検疫所蒸気消毒室の既消毒側 臨時陸軍検疫部報告摘要(宮崎所蔵)

※参考文献 ・臨時陸軍検疫部報告摘要(陸軍省)

・芸備日々新聞(明治28年5月13日発行)



写真②

## こぼれ話...

## 菓子伝説スイーツ「似島バウムクーヘン」

「ひろしま菓子博2013」(平成25年4月19日～5月12日)開催に合わせ、「南区七大伝説スイーツをつくろう」というキャッチフレーズのもとに進徳女子高校の試食室を会場に、同高校食育デザイン科の先生と生徒さん、伝説ゆかりの地域の方、そして南区役所の担当者が伝説ごとの7テーブルに分かれ、アイデアを出し合い、試作を経て広島在住の菓子職人が完成品をつくるという流れで南区七大伝説の一つ、菓子伝説スイーツが生まれました。

菓子伝説スイーツは、初日の会合では、(1)安芸の小富士をイメージして三角形にし、似島産のレモンを使ったバウムクーヘンをつくる、(2)オリジナルバウムクーヘンの外生地に荒微塵にした生のサツマイモを練り込んで焼く、焼き芋型バウムクーヘンをつくる、の2案が出ました。この(2)案は、バウムクーヘンが日本で初めて焼かれた当時の似島の人々の暮らしぶりはどうであったか。おそらくおやつと言えば、バウムクーヘンどころか焼き芋ぐらいしか思い浮かばず、当時の島の人々を偲んで思いついたものでした。試行錯誤を経て、ついにレモ

ン色で三角形の愛らしく、たいへんおいしいバウムクーヘンが出来上がりました!

4月21日(日)、広島駅南口地下広場にて「南区七大伝説を食べに行こう!!」で初めて市民の前にお目見えし、先着800個がクイズに答えた方々に無料でふるまわれました。その中でも菓子伝説スイーツの人気は南区七大伝説スイーツの中でもなかなかのものでした!!!

二ノシマホテル観察会(6月1～2日)では、2日目のお昼、参加者の皆様と似島ランチに菓子伝説スイーツをいただく機会を得、例年と一味違ったホテル観察会になりました。

最後に、菓子伝説スイーツをまだ食べてない方は、パティスリーアニバーサリー(広島市南区段原山崎三丁目2-3)のお店に行ってみてください。いつも10個程度はお店に出しているそうですよ! (向江 菊枝)





# ホタルかごの作り方



三ノシマホタルを育てる里人の会は、ホタルのくらしやすい環境を整えて、ホタルたちが自分で育っていくのを見守っています。

だからおねがいです。

ホタルをうちにつれて帰らないでね。...といつつ、ホタルかごを作ってしまうのはなぜか？

## 1 底の✕を作る

10センチくらいの長さのストローが作りやすいですよ。

(A) 同じ長さのストローを2本用意します。

(B) 1本には、真ん中に切れ目を入れて、

(C) もう1本のストローをさし込む。



## 2 底の□を作る

(A) 1で作った✕にストローをつなぎ足す。

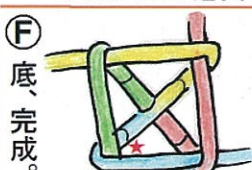
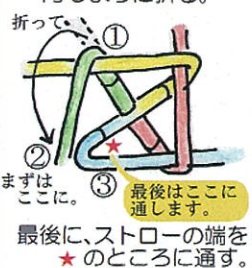
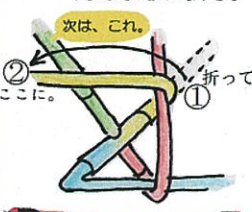
(B) ストローを起こして、反時計回りの隣のストローめがけて折り曲げ、その上に置く。

(C) (B)で下になったストローを起こして反時計回りの隣のストローの上に。

(D) 3本目のストローも同じように折る。

(E) 4本目も同じように折る。

(F) 底、完成。



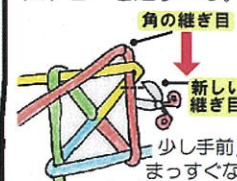
## コツ① ストローのつなぎ方

麦わらは太いほうに細いほうをさす。

ストローは、同じ太さなので、一方の口をつがしてからさすとうい。

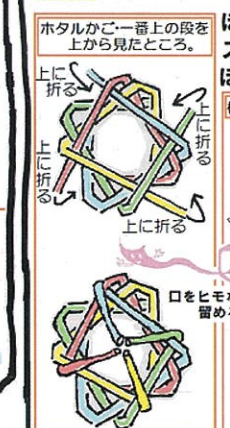
## コツ②

ストローの継ぎ目が角にくると抜けやすい。手前のまっすぐな部分を切ってそこでストローを足すべし。



## 4 完成!

ストローを内側に編んでいくので、上に行くほどホタルかごの口が小さくなってきます。



ストローを内側に編んでいくので、上に行くほどホタルかごの口が小さくなってきます。

ほどよい大きさになったら、ストローを上折って、ほどけないよう4本まとめてくくり、やっと完成です。

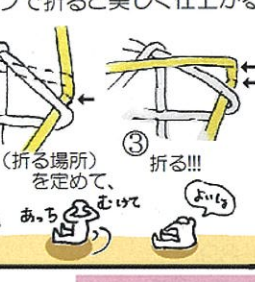


## コツ③

ストローは、ツーステップで折ると美しく仕上がる。



ストローは、ツーステップで折ると美しく仕上がる。



## 0 準備するもの

- ストローまたは麦わら
- ホタルかごの口を留めるもの (ひも・針金・ゴムなど) 節
- はさみ
- カッター
- テープ

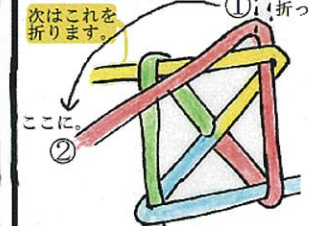
本数はけっこうたくさん必要です。ストロー自体の太さや長さ、また、作るホタルかごの大きさにもよりますが、最低50本以上は用意したほうがよいでしょう。

麦わらは下ごしらえが必要です。「むぎわら」を英語で「ええええ」といって「ストロー」なんだよ。

麦わらには下ごしらえが必要です。茎の一番上の節を使います。上下の節をはさみで切り落としておきましょう。あらかじめ温らせておくと折れにくくなります。

## 3 側面を編む

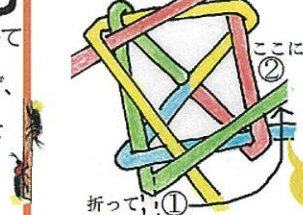
(A) 1本目のストローを起こして反時計回りの隣のストローめがけて折り曲げ、その上に置く。



(B) (A)で下になったストローを起こして反時計回りの隣のストローの上に置く。



(C) 3本目のストローも同じように折る。



(D) 4本目も同じように折る。



全体の流れ



(E) 1段目、完成。



## 5 ホタルを見に行く

ホタルかごが完成したらホタルの観察に出かけよう!

里人のホタルの願いは、じつは...

ホタルかごで観察できるくらいにホタルが増えること

脈々と命を繋いできた、いま、ここにいるホタルを守りたい。

だからおねがいです。観察が終わったらホタルは必ず元の場所に逃がしてね。



ホタル観察・おススメファッション  
長そでのシャツ・長ズボン・帽子・長ぐつかスニーカー・軍手・首にはタオル!

ホタルは光を送りあって結婚相手を探します。ホタル池では懐中電灯は消してくださいね。

●明るいうちにホタルの観察場所周辺を下見しておく事をお勧めします。



